

JAOS FENDER GARNISH type-X Installation Instructions

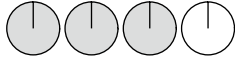
Vehicle Application
**TOYOTA LAND CRUISER
PRADO 17.09- (150W)**

このたびは JAOS フェンダーガーニッシュ type-X をお買い上げいただきありがとうございます。
本書はフェンダーガーニッシュ type-X を取り付ける場合の要領と取り扱いについて記載しています。

取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

< 作業後は本書を製品の使用者様にお渡ししていただき、使用者様は本書を大切に保管してください。 >

取付参考時間
INSTALLATION TIME



約 3.0 時間
3.0-hours

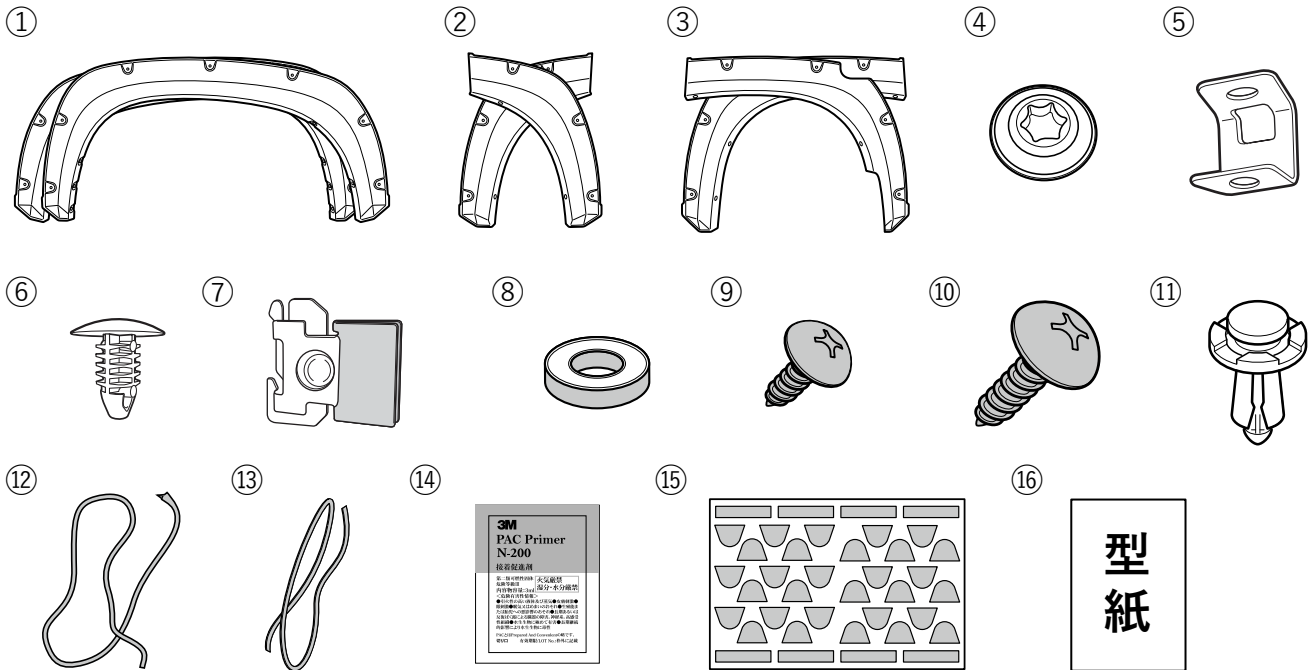
必要工具
TOOL

プラスドライバー
クリップクランプツール
マーカーペン
カッター、ハサミ
マスキングテープ、養生テープ

作業難度
SKILL LEVEL

- | | |
|--------------|----------------------|
| ① パーツ交換 / 取付 | Easy |
| ② 車体加工あり | Moderately Easy |
| ③ 専門知識が必要 | Moderately Difficult |
| ④ 分解整備 | Difficult |




部品構成



構成部品名称 DESCRIPTION	数量 Q'TY	構成部品名称 DESCRIPTION	数量 Q'TY
① フェンダーガーニッシュ本体 (F フェンダー / 左右) FENDER GARNISH(FRONT FENDER LH/RH)	各 1	⑨ タッピングスクリュー A (M4-12) TAPPING SCREW A	4
② フェンダーガーニッシュ本体 (R ドア / 左右) FENDER GARNISH(REAR DOOR LH/RH)	各 1	⑩ タッピングスクリュー B (M6-20) TAPPING SCREW B	2
③ フェンダーガーニッシュ本体 (R フェンダー / 左右) FENDER GARNISH(REAR FENDER LH/RH)	各 1	⑪ クリップ ※ JAOS マットガードと同時装着時のみ使用 CLIP	2
④ ダミーボルト DUMMY BOLT	28	⑫ エンドモール END MOLDING	1
⑤ ブラケット BRACKET	4	⑬ パッドモール PAD MOLDING	4
⑥ ブラッシュクリップ BRUSH CLIP	4	⑭ PAC プライマー PAC PRIMER	1
⑦ Jナット (樹脂付き) J NUT	2	⑮ 型抜き両面テープ DIE CUT DOUBLE-SIDED TAPE	1
⑧ ゴムワッシャー (16x8 3.0t) RUBBER WASHER	2	⑯ 型紙 PAPER PATTERN	1



取り扱い上のご注意

この取扱要領書で使用している表示の意味と内容


-  **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、生命の危険または重大な障害を負う可能性がある内容を示しています。
-  **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、事故による障害を負う可能性または物的損害が想定する内容を示しています。
-  **アドバイス** この表示は効率よく作業を行うために知っていただきたい内容を示しています。

商品は改良のため仕様および形状などを予告なく変更することがあります



取り付け作業を行うまえに

-  **警告** ●取り付ける車両の安全を確認・確保してください。
-  **注意** ●取付要領書を必ずお読みください。



安全に作業を行うために

-  **注意** ●純正部品の脱着は当該車両の修理書にしたがい作業を行ってください。
- 製品は丁寧に扱ってください。
- 作業に適した服装で作業を行ってください。



取り付けについて

-  **警告** ●必ず既定の締め付けトルクにて締め付けを行ってください。
-  **注意** ●取り付け後には必ず取り付け確認と走行テストを行ってください。

使用上の注意事項

-  **警告** ●設計荷重の範囲内で使用してください。
-  **注意** ●定期的な点検を行ってください。
- 薬品などの付着に注意してください。
- 路面とのクリアランスや環境変化による走行には十分ご注意ください。

中古品の売買および譲渡や廃棄について

-  **注意** ●同じ商品でも販売時期や仕様変更などにより内容が異なる場合があります。
 - 商品や付属品が正確に判別することができない場合、お問い合わせに対する回答内容は保証いたしかねますのでご了承ください。
 - 商品に不具合が生じている場合はお買い求めの販売店や弊社にご相談ください。
-  **アドバイス** ●商品の破棄は専門家に相談してください。

保証について

- 初期不良の保証…お届けから1週間以内
商品の破損、不具合などトラブルがあった場合、初期不良の保証対象として修理、代品交換、返品を承ります。
- 製品保証…弊社オリジナル商品をご購入より1年間 ※ただし、期間内でも走行距離20,000kmまで
初期不良に該当する場合や一部消耗品を除き、購入履歴をお調べし規定に従い保証いたします。

 保証についての詳細はJAOSオフィシャルサイトをご参照ください。【保証について】 www.jaos.co.jp/support/policy ▶



塗装について

! **注意** 塗装前には必ず取付確認を行ってください。
塗装後の製品交換は、お受けしかねますのでご了承ください。

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行う。
2. サンドイニング処理・プライマー塗装を行う。
3. 上塗り塗装を行う。
4. 乾燥させる。

! **注意** 本製品を塗装する際は乾燥温度を 70°C以下で行ってください。
乾燥温度を 70°C以上に上げると製品に変形や割れが発生しますので十分注意してください。

強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

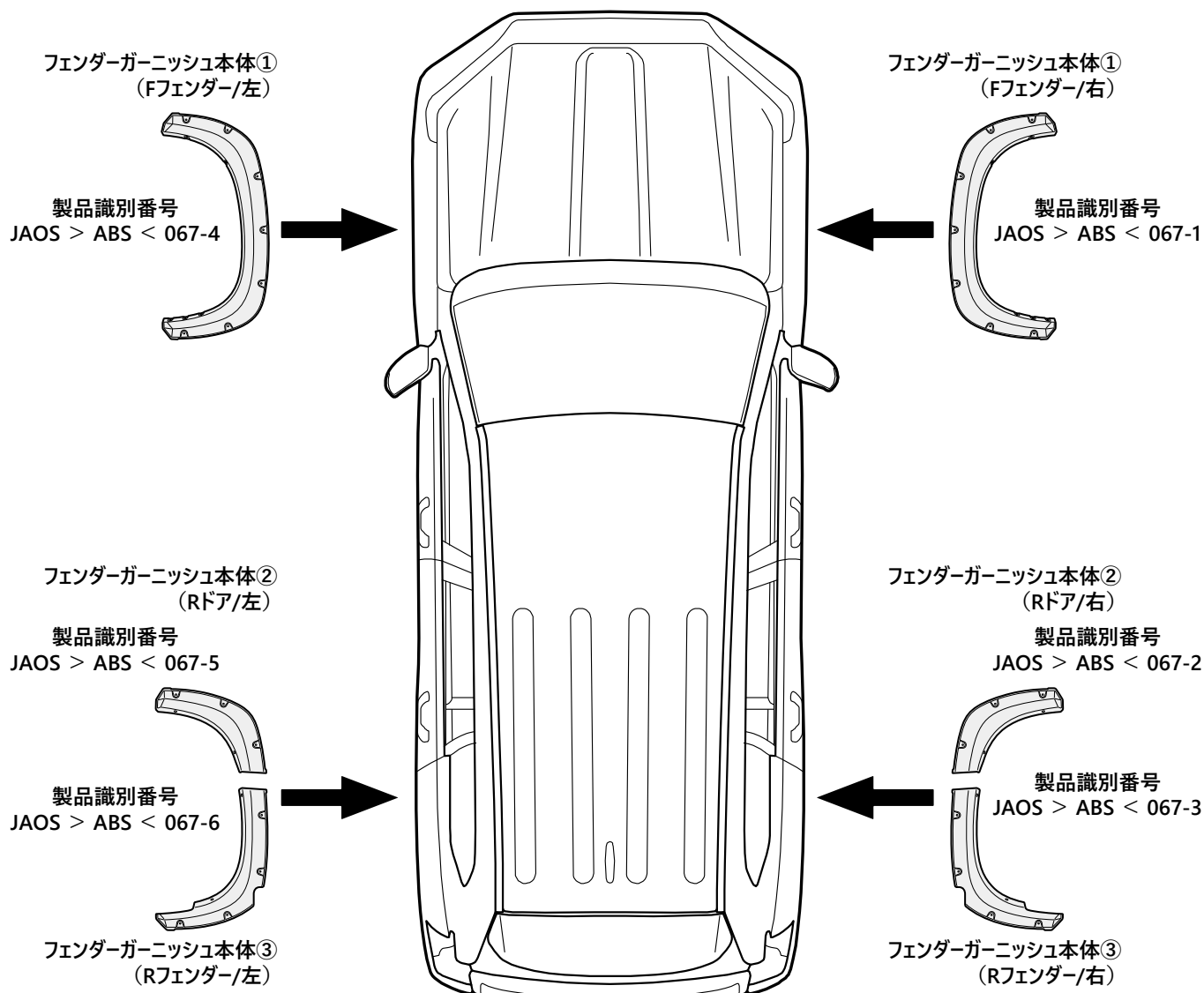
フェンダーガーニッシュ本体① (Fフェンダー/左右) を塗装してください。

フェンダーガーニッシュ本体② (Rドア/左右) を塗装してください。

フェンダーガーニッシュ本体③ (Rフェンダー/左右) を塗装してください。

取付位置の確認

※○の数字は本書の構成部品番号です。



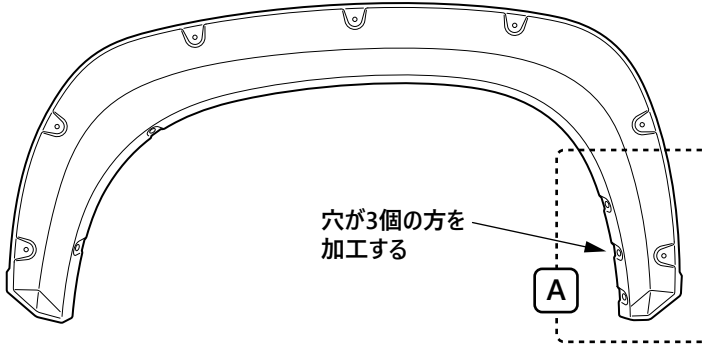
取付要領

※図中や文中の○数字は構成部品のナンバー、●数字は作業の順番を示しています。

1. フェンダーガーニッシュ本体（F フェンダー / 左右）の加工 ※未塗装品のみ

LH図示 ※RHも同様

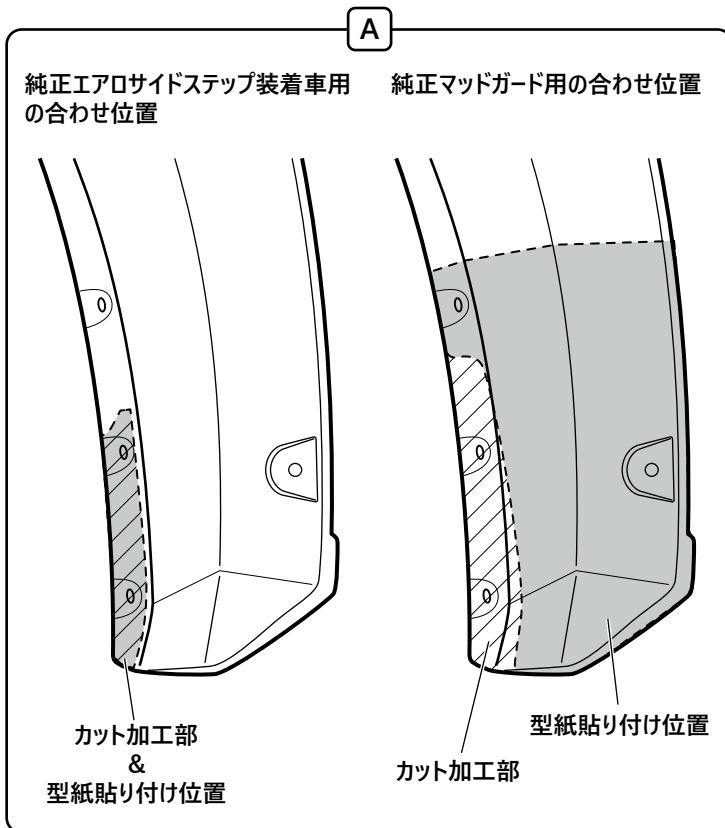
車両前側 ←



- 未塗装品のみ加工します。
- JAOS マッドガード装着車の場合は加工しません。

- 型紙⑯に記載の手順にしたがって、フェンダーガーニッシュ本体（F フェンダー / 左右）①に型紙⑯を貼り付けて加工します。

! 注意 型紙⑯には純正マッドガード用と純正エアロサイドステップ装着車用がありますので、間違えないようにしてください。



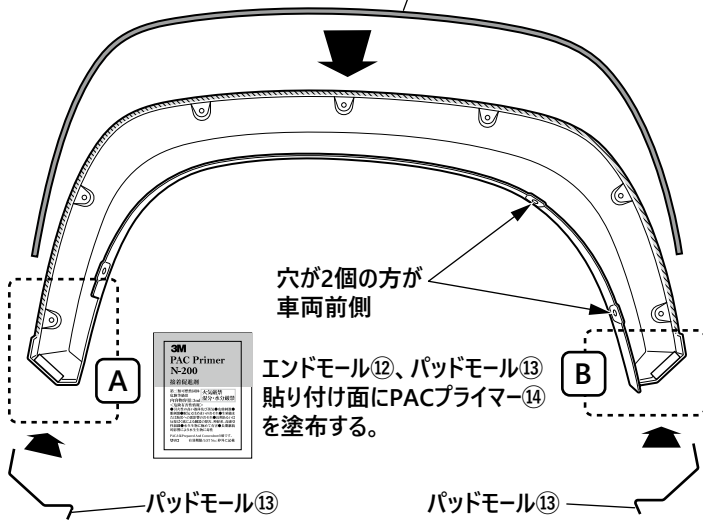
2. 製品の取り付け準備

フロント側

LH図示 ※RHも同様

エンドモール⑫

→ 車両前側



穴が2個の方が
車両前側

エンドモール⑫、パッドモール⑬
貼り付け面にPACプライマー⑭
を塗布する。



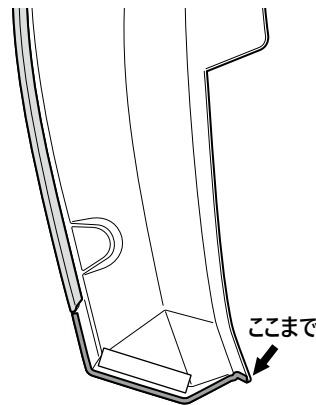
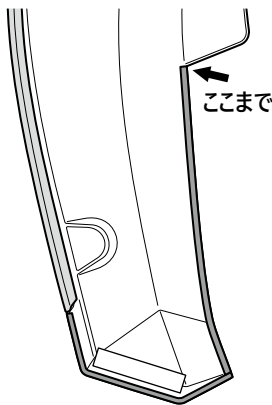
パッドモール⑬

パッドモール⑬

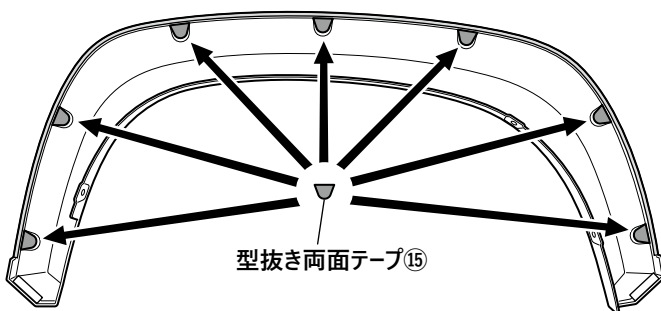
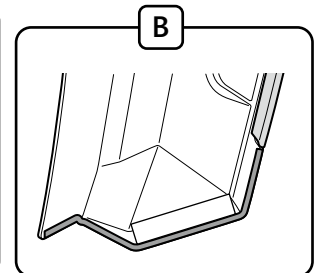
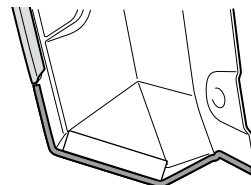
A

【純正マッドガードの場合】

【純正エアロサイドステップ装着車の場合】



【JAOSマッドガード装着車の場合】



型抜き両面テープ⑮



型抜き両面テープ⑮貼り付け面に
PACプライマー⑭を塗布する。

- 図のようにフェンダーガーニッシュ本体 (F フェンダー / 左右) ①のエンドモール⑫、パッドモール⑬貼り付け面に PAC プライマー⑭を塗布します。
※ PAC プライマー使用上の注意については、下記をご覧ください。

- 図を参照し、エンドモール⑫、パッドモール⑬を貼り付けます。

! 注意 PAC プライマーはあとの作業でも使用するため、捨てずに保管してください。

3M PAC Primer N-200
両面テープ接着剤

両面テープ接着剤使用時の注意 (3M/PAC プライマー N200)

- 袋から不織布を取り出して、取り付け面へ均一に塗布してください。
- 不織布が乾くまでに作業を行ってください。(揮発性が高いため、使用しない場合は速やかに袋に戻して、揮発するのを抑えてください)
- プライマーの効力を発揮させるため、塗布後は常温で10分程度乾燥させてください。
- プライマーは塗装面を黄変させるので必ず塗装面をマスキングして、はみ出したプライマーは早めにアルコールなどで完全に拭き取ってください。

- 図のようにフェンダーガーニッシュ本体 (F フェンダー / 左右) ①の型抜き両面テープ⑮貼り付け面に PAC プライマー⑭を塗布します。
※ PAC プライマー使用上の注意については、下記をご覧ください。

- 図を参照し、型抜き両面テープ⑮を貼り付けます。

! 注意 PAC プライマーはあとの作業でも使用するため、捨てずに保管してください。

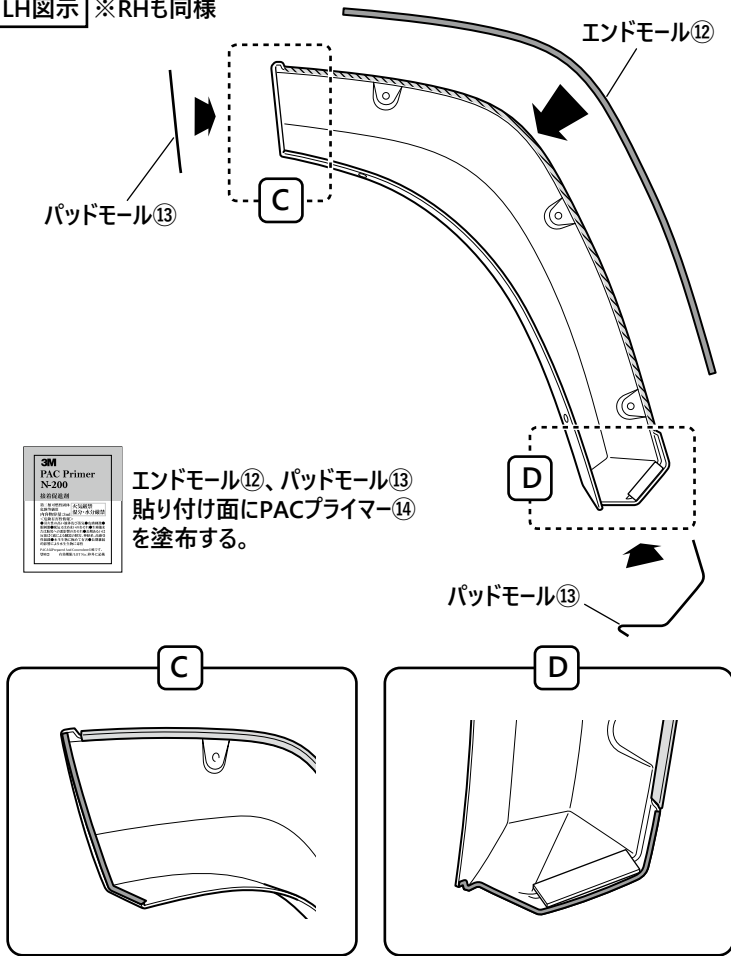
3M PAC Primer N-200
両面テープ接着剤

両面テープ接着剤使用時の注意 (3M/PAC プライマー N200)

- 袋から不織布を取り出して、取り付け面へ均一に塗布してください。
- 不織布が乾くまでに作業を行ってください。(揮発性が高いため、使用しない場合は速やかに袋に戻して、揮発するのを抑えてください)
- プライマーの効力を発揮させるため、塗布後は常温で10分程度乾燥させてください。
- プライマーは塗装面を黄変させるので必ず塗装面をマスキングして、はみ出したプライマーは早めにアルコールなどで完全に拭き取ってください。

リヤドア側


LH図示 ※RHも同様



エンドモール⑫、パッドモール⑬
貼り付け面にPACプライマー⑭
を塗布する。

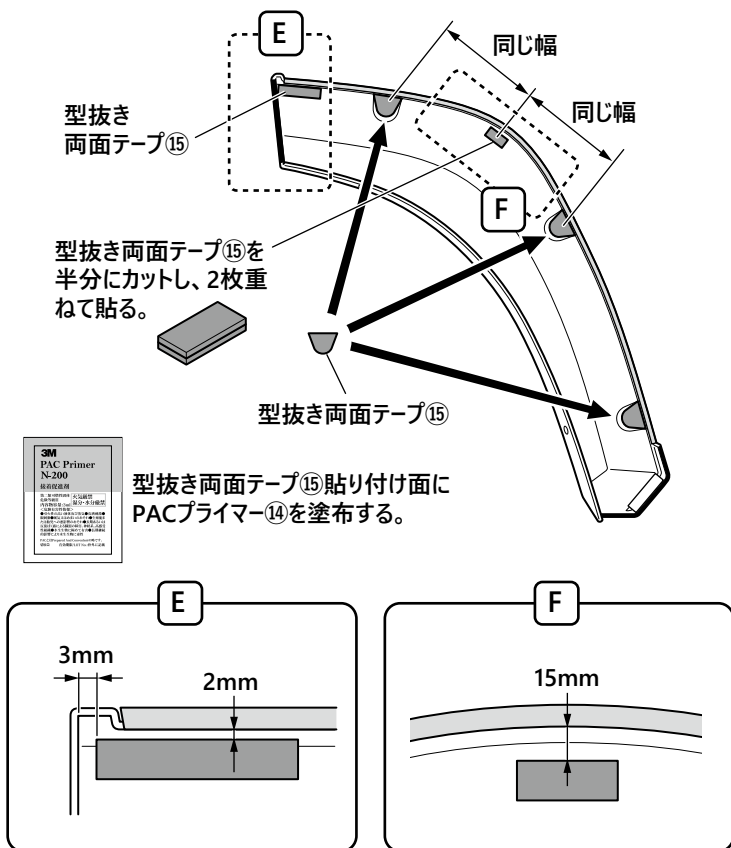
- 図のようにフェンダーガーニッシュ本体 (R ドア / 左右) ② のエンドモール⑫、パッドモール⑬貼り付け面に PAC プライマー⑭を塗布します。
※ PAC プライマー使用上の注意については、下記をご覧ください。
- 図を参照し、エンドモール⑫、パッドモール⑬を貼り付けます。

! 注意 PAC プライマーはあとの作業でも使用する
ため、捨てずに保管してください。



両面テープ接着力促進剤使用時の注意 (3M/PAC プライマー N200)


- 袋から不織布を取り出して、取り付け面へ均一に塗布してください。
- 不織布が乾くまでに作業を行ってください。(揮発性が高いので、使用しない場合は速やかに袋に戻して、揮発するのを抑えてください)
- プライマーの効力を発揮させるため、塗布後は常温で 10 分間程度乾燥させてください。
- プライマーは塗装面を黄変させるので必ず塗装面をマスキングして、はみ出したプライマーは早めにアルコールなどで完全に拭き取ってください。



型抜き両面テープ⑮貼り付け面に
PACプライマー⑭を塗布する。

- 図のようにフェンダーガーニッシュ本体 (R ドア / 左右) ② の型抜き両面テープ⑮貼り付け面に PAC プライマー⑭を塗布します。
※ PAC プライマー使用上の注意については、下記をご覧ください。
- 図を参照し、型抜き両面テープ⑮を貼り付けます。
F 部の型抜き両面テープ⑮は半分にカットし、重ねて貼ります。

! 注意 PAC プライマーはあとの作業でも使用する
ため、捨てずに保管してください。

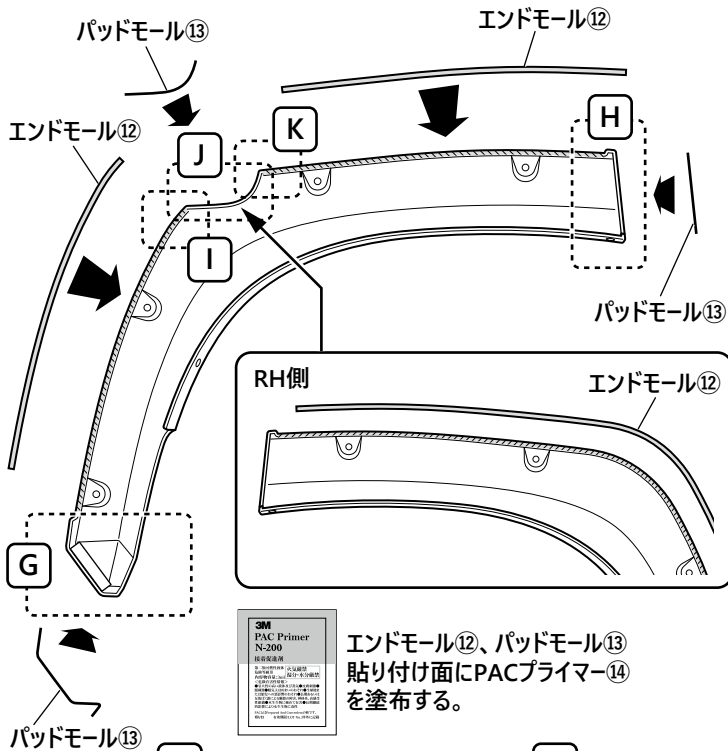


両面テープ接着力促進剤使用時の注意 (3M/PAC プライマー N200)

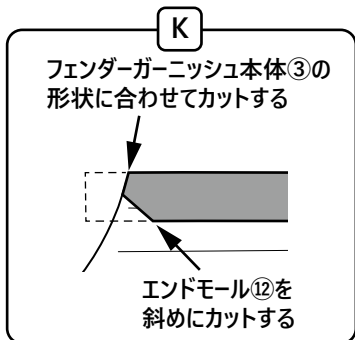
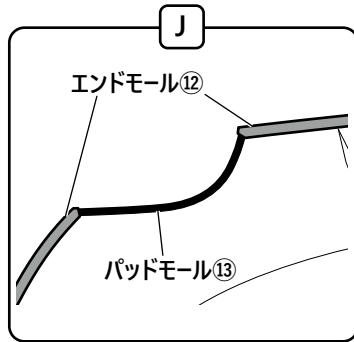
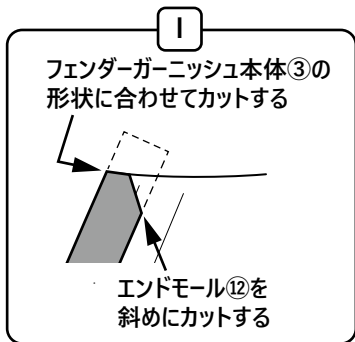
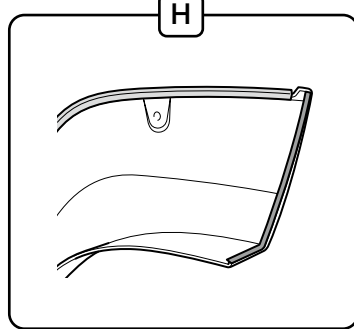
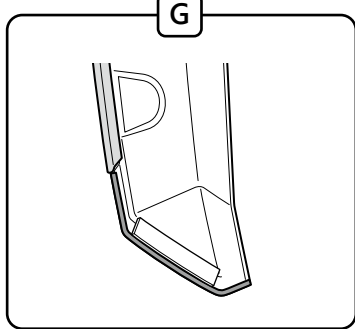
- 袋から不織布を取り出して、取り付け面へ均一に塗布してください。
- 不織布が乾くまでに作業を行ってください。(揮発性が高いので、使用しない場合は速やかに袋に戻して、揮発するのを抑えてください)
- プライマーの効力を発揮させるため、塗布後は常温で 10 分間程度乾燥させてください。
- プライマーは塗装面を黄変させるので必ず塗装面をマスキングして、はみ出したプライマーは早めにアルコールなどで完全に拭き取ってください。

リヤフェンダー側

LH図示 ※RHも同様



エンドモール⑫、パッドモール⑬
貼り付け面にPACプライマー⑭
を塗布する。



・図のようにフェンダーガーニッシュ本体（R フェンダー / 左右）③のエンドモール⑫、パッドモール⑬貼り付け面に PAC プライマー⑭を塗布します。

※ PAC プライマー使用上の注意については、下記をご覧ください。

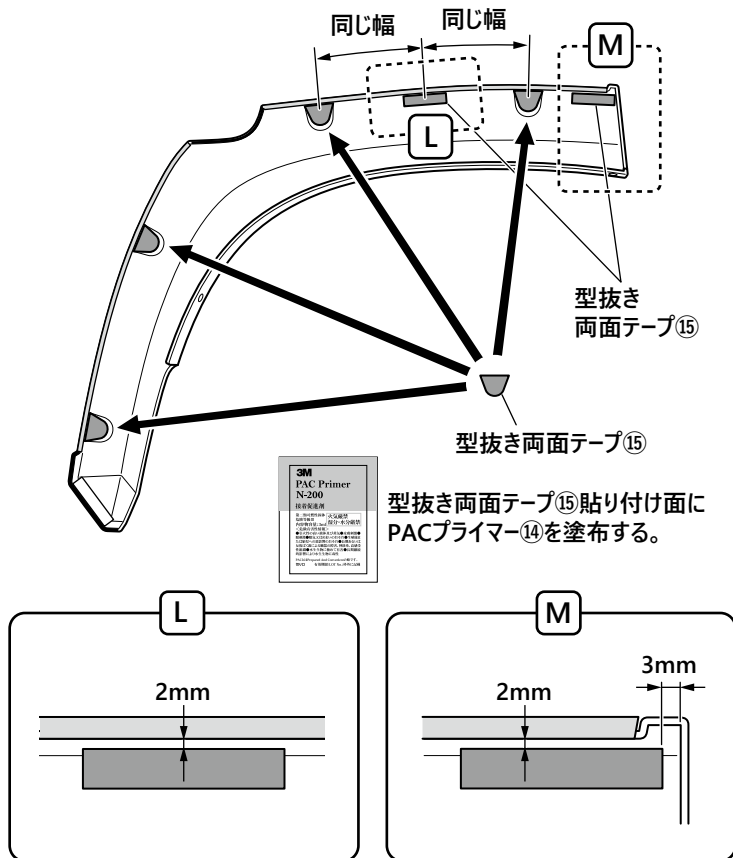
・図を参照し、エンドモール⑫、パッドモール⑬を貼り付けます。

※フェンダーガーニッシュ本体（R フェンダー / 左右）③は、I・K 部のエンドモール⑫を図のようにカットします。

! 注意 PAC プライマーはあとの作業でも使用する
ため、捨てずに保管してください。

3M PAC Primer N-200
両面テープ接着剤使用時の注意
(3M/PAC プライマー N200)

- 袋から不織布を取り出して、取り付け面へ均一に塗布してください。
- 不織布が乾くまでに作業を行ってください。(揮発性が高いので、使用しない場合は速やかに袋に戻して、揮発するのを抑えてください)
- プライマーの効力を発揮させるため、塗布後は常温で 10 分間程度乾燥させてください。
- プライマーは塗装面を黄変させるので必ず塗装面をマスキングして、はみ出したプライマーは早めにアルコールなどで完全に拭き取ってください。



- 図のようにフェンダーガーニッシュ本体（R フェンダー / 左右）③の型抜き両面テープ⑮貼り付け面に PAC プライマー⑭を塗布します。
※ PAC プライマー使用上の注意については、下記をご覧ください。
- 図を参照し、型抜き両面テープ⑮を貼り付けます。

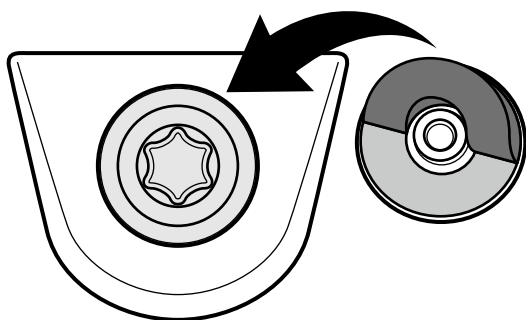
! 注意 PAC プライマーはあとの作業でも使用するため、捨てずに保管してください。

3M PAC Primer N-200
両面テープ接着力促進剤使用時の注意 (3M/PAC プライマー N200)

- 袋から不織布を取り出して、取り付け面へ均一に塗布してください。
- 不織布が乾くまでに作業を行ってください。(揮発性が高いので、使用しない場合は速やかに袋に戻して、揮発するのを抑えてください)
- プライマーの効力を発揮させるため、塗布後は常温で 10 分間程度乾燥させてください。
- プライマーは塗装面を黄変させるので必ず塗装面をマスキングして、はみ出したプライマーは早めにアルコールなどで完全に拭き取ってください。

3. ダミーボルトの貼り付け

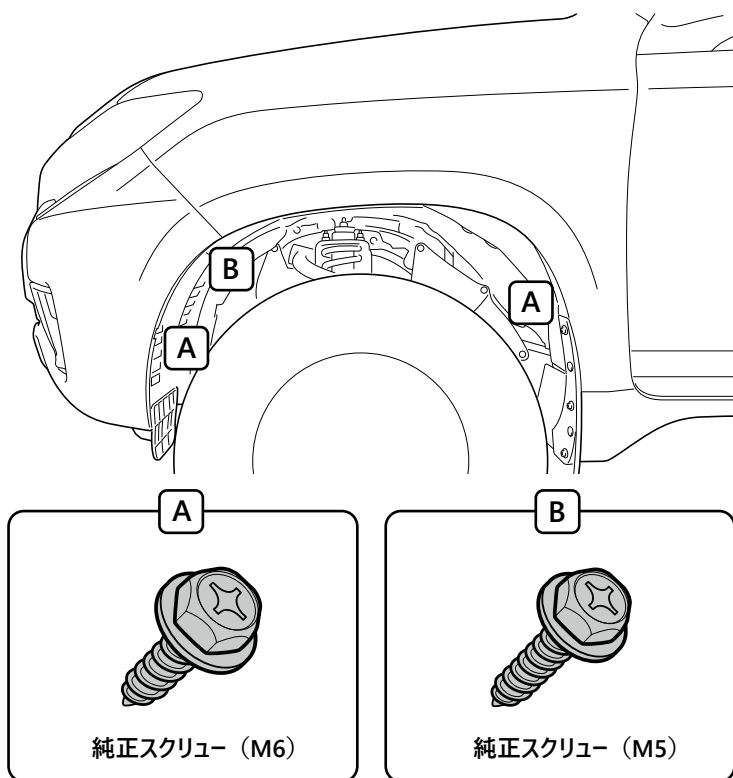
裏側の離型紙を剥がす



- フェンダーガーニッシュ本体（F フェンダー）①、フェンダーガーニッシュ本体（R ドア）②、フェンダーガーニッシュ本体（R フェンダー）③にダミーボルト④を貼り付けます。
- フェンダーガーニッシュ本体（F フェンダー）①
片側 7 箇所、左右計 14 箇所
- フェンダーガーニッシュ本体（R ドア）②
片側 3 箇所、左右計 6 箇所
- フェンダーガーニッシュ本体（R フェンダー）③
片側 4 箇所、左右計 8 箇所

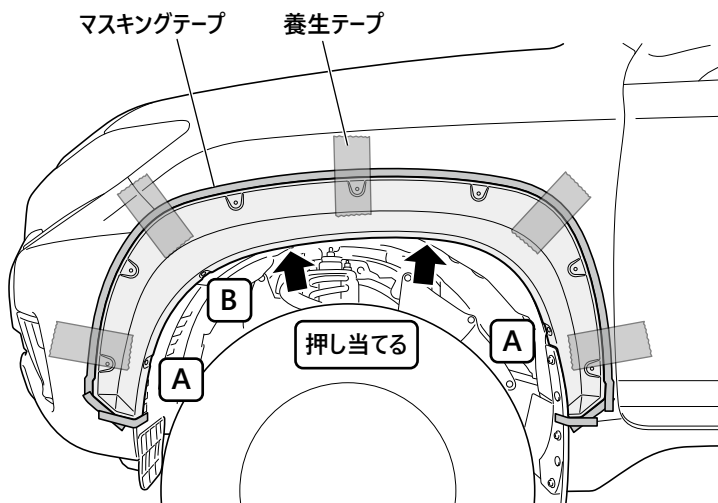
4. フロント側の取り付け準備

LH図示 ※RHも同様



- 図 A、B の箇所から純正スクルーを取り外します。JAOS マッドガード装着車は、JAOS マッドガードも取り外します。

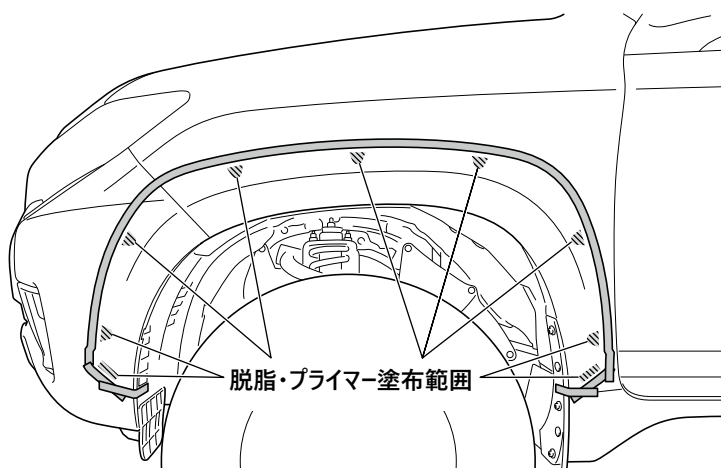
アドバイス 取り外した純正スクルーは再使用しますので、紛失ないように保管してください。



- フェンダーガーニッシュ本体 (F フェンダー / 左右) ①を車両にあてがい、養生テープで固定します。
- 図 A、B の箇所を純正スクルーで仮締めします。

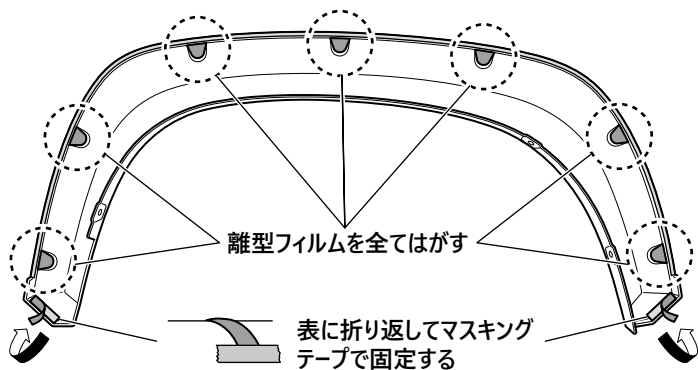
アドバイス 円弧、意匠面を必ず揃えてください。

- 取り付け位置をマスキングテープで図のようにマーキングします。
- フェンダーガーニッシュ本体 (F フェンダー / 左右) ①を取り外します。



- 長方形の両面テープと型抜き両面テープ⑮の接着面 (斜線部) を脱脂 / 洗浄し、同じ箇所に PAC プライマー⑭を塗布します。

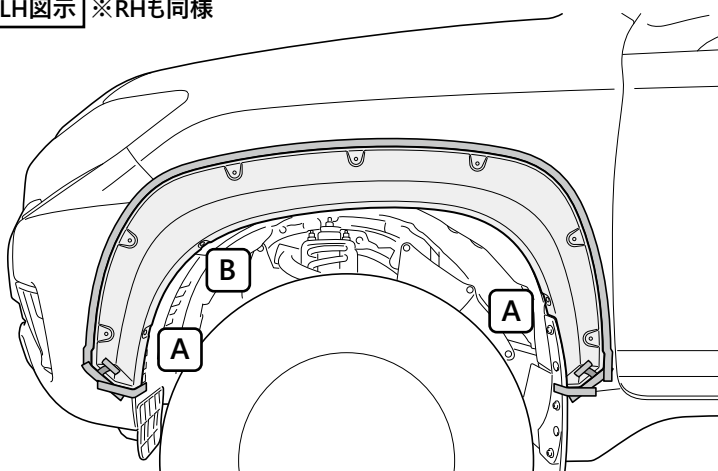
注意 PAC プライマーはあとでリヤ側の作業にも使用するため、捨てずに保管してください。



- 長方形の両面テープの離型フィルムを一部はがし、表面に折り返してマスキングテープなどで貼り付けます。
- 残りの型抜き両面テープ⑮の離型フィルムを全てはがします。

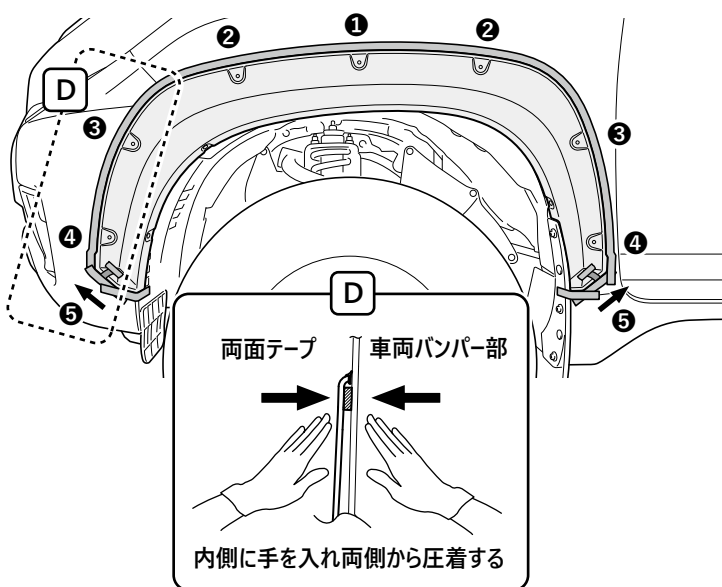
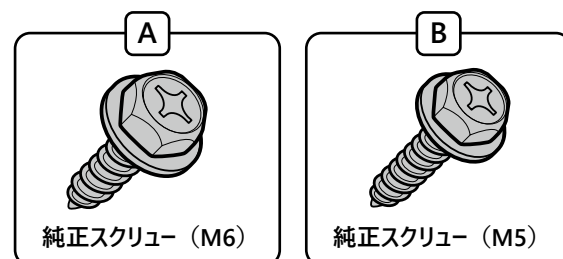
5. フロント側の取り付け

LH図示 ※RHも同様



- フェンダーガーニッシュ本体 (F フェンダー / 左右) ①を車両にあてがい、図 A、B の箇所を純正スクリューで仮締めします。

👉 アドバイス 円弧、意匠面を必ず揃えてください。



- 上下左右のバランス、隙、穴位置などのズレがないことを確認し、図の順に圧着します (①～⑤)。
- 全てのマスキングテープを剥がします。
- 仮締め箇所を本締めします。

👉 アドバイス 両面テープは気温が 15°C 以下になると接着力が低下します。気温が低い場合は、作業前に両面テープ及び被接触面をドライヤー等であたためてから作業を行ってください。

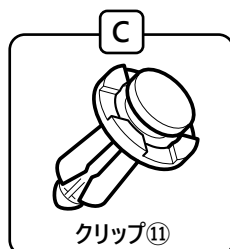
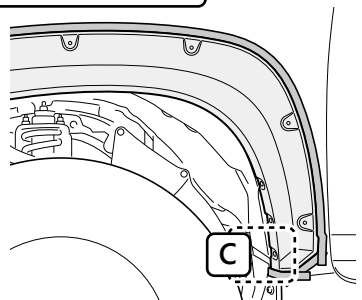
👉 アドバイス 両面テープの圧着は 49N・m (5kgf/cm²) 以上で行ってください。

👉 アドバイス 取り付け完了後、3 時間程度は強い力をかけたり水に濡れない様に注意してください。両面テープのはがれや取付部分に隙間が発生する可能性があります。

JAOS マッドガード装着車の場合

LH図示

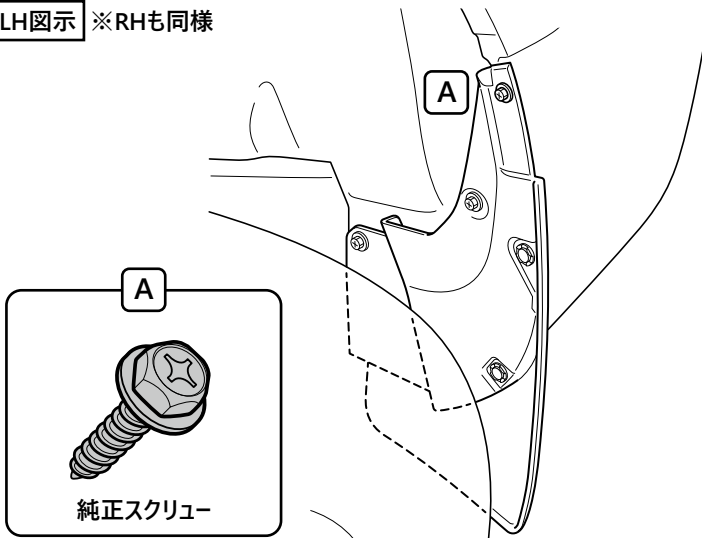
※RHも同様



- フェンダーガーニッシュ本体 (F フェンダー / 左右) ①を取り付けた後、JAOS マッドガードを復元します。その際、図 C の箇所は元のクリップを使わずに、クリップ⑪で固定してください。

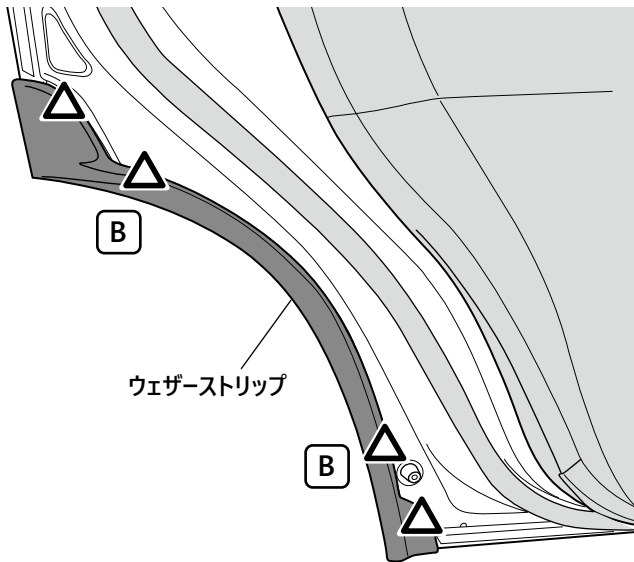
6. リヤ側の取り付け準備

LH図示 ※RHも同様



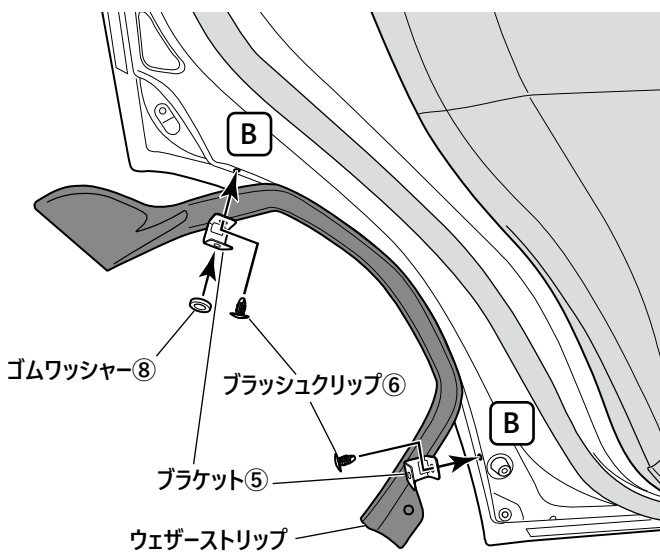
• 図 A の箇所から純正スクリューを取り外します。

アドバイス 取り外した純正スクリューは再使用しますので、紛失しないように保管してください。



• リアドア内側のウェザーストリップを固定しているピン(△部)を取り外し、ウェザーストリップの B 部分の中からピンを取り外します。

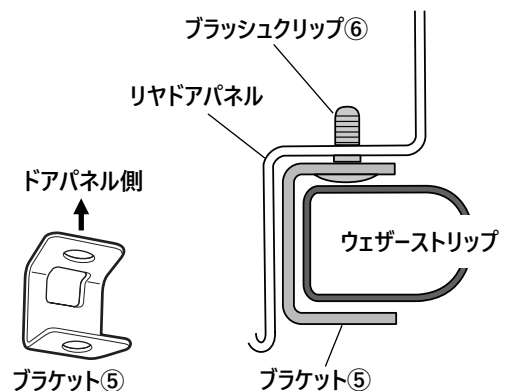
アドバイス 取り外した車両部品は使用しませんので、大切に保管してください。

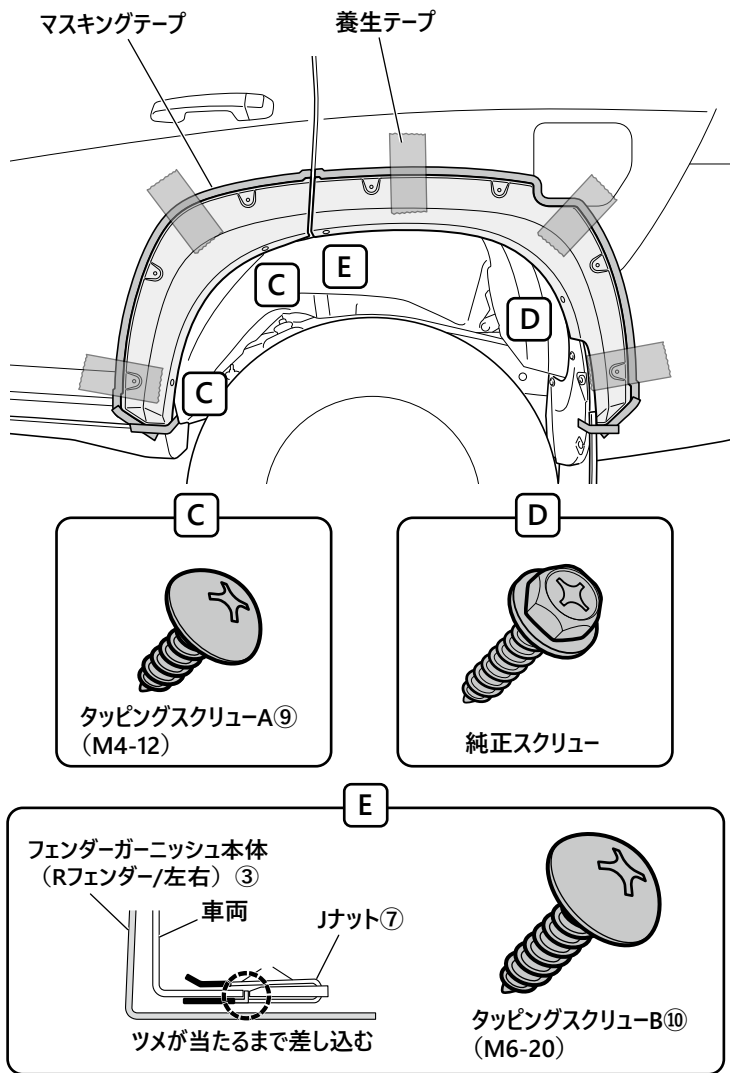


• 図 B の箇所にブラケット⑤をブラッシュクリップ⑥で固定し、ウェザーストリップを元に戻します。

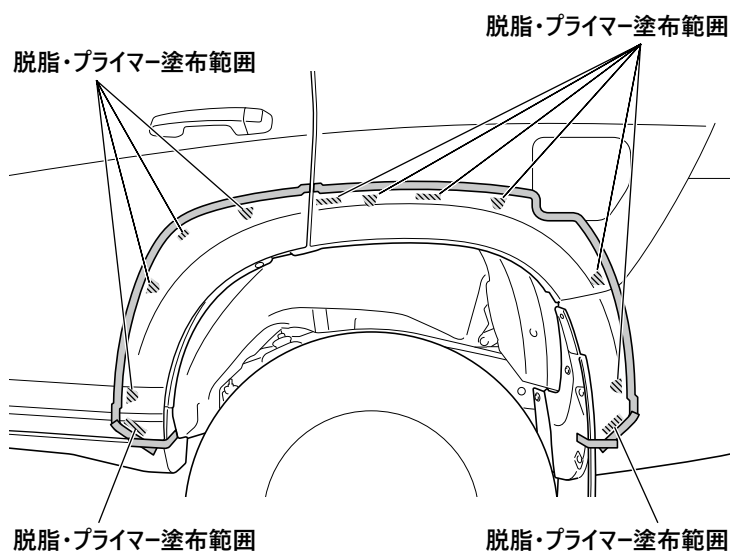
アドバイス ブラケットの切り欠き部分がドア側(ブラッシュクリップで止める側)になります。

• 上側のブラケット⑤にゴムワッシャー⑧を貼り付けます。

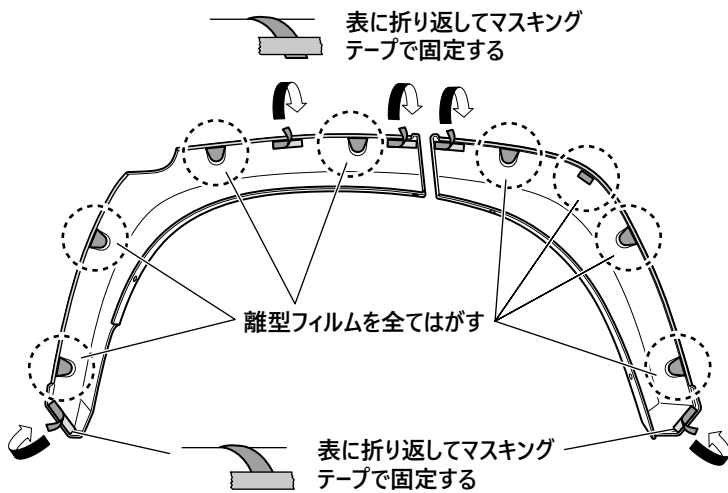




- フェンダーガーニッシュ本体 (Rドア/左右) ②とフェンダーガーニッシュ本体 (Rフェンダー/左右) ③を車両にあてがい、養生テープで固定します。
- 図 C の箇所をタッピングスクリュー A ⑨、図 D の箇所を純正スクリューで仮締めします。
- 図 E の穴位置に合わせて車両側にナット⑦を取り付け、タッピングスクリュー B ⑩で仮締めします。
- 取り付け位置をマスキングテープで図のようにマーキングします。
- フェンダーガーニッシュ本体 (Rドア/左右) ②とフェンダーガーニッシュ本体 (Rフェンダー/左右) ③を取り外します。



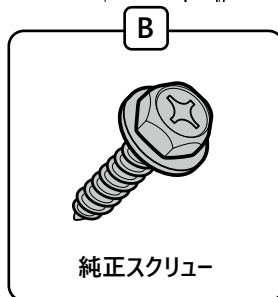
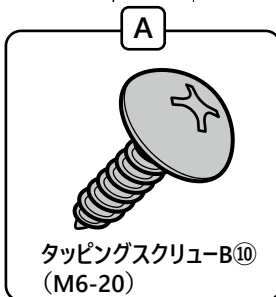
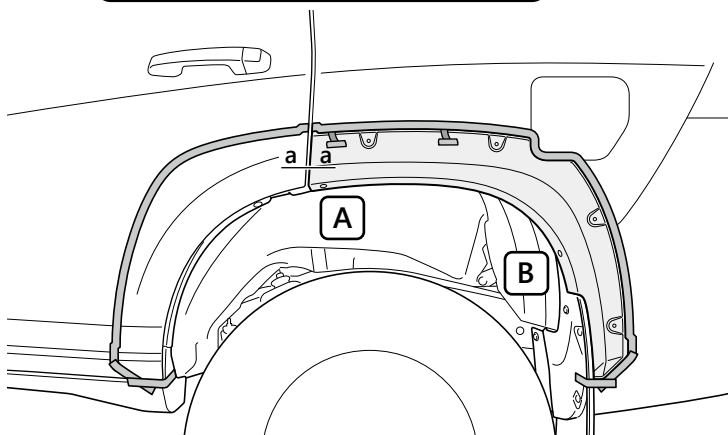
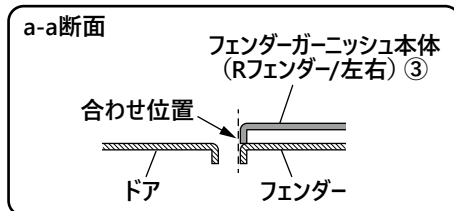
- 長方形の両面テープと型抜き両面テープ⑮の接着面(斜線部)を脱脂/洗浄し、同じ箇所にPACプライマー⑭を塗布します。



- 長方形の両面テープの離型フィルムを一部はがし、表面に折り返してマスキングテープなどで貼り付けます。
- 残りの型抜き両面テープ⑮の離型フィルムを全てはがします。

7. リヤ側の取り付け

LH図示 ※RHも同様

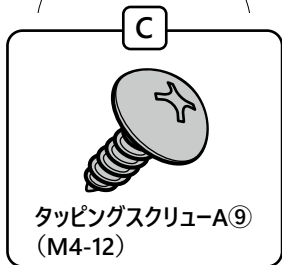
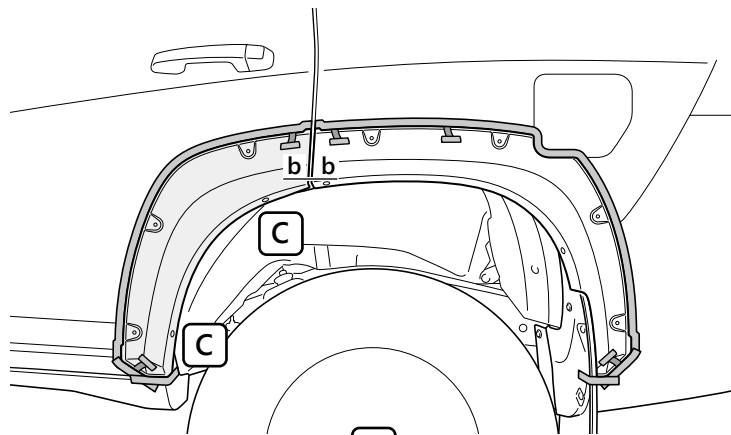
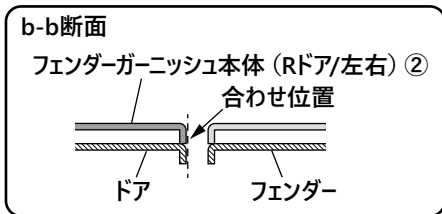


- フェンダーガーニッシュ本体 (R フェンダー / 左右) ③を車両にあてがい、図 A の箇所をタッピングスクリュー B ⑩、図 B の箇所を純正スクリューで固定します。

注意 フェンダーガーニッシュ本体 (R フェンダー / 左右) ③を先に取り付けてください。フェンダーガーニッシュ本体 (R ドア / 左右) ②から取り付けると正しく取り付けできません。

アドバイス 円弧、意匠面を必ず揃えてください。

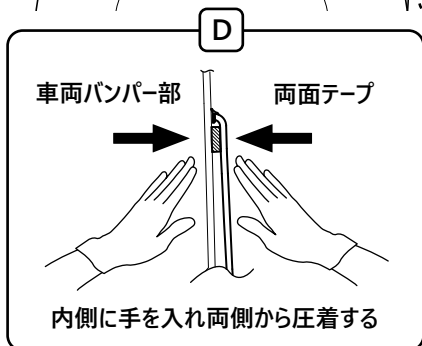
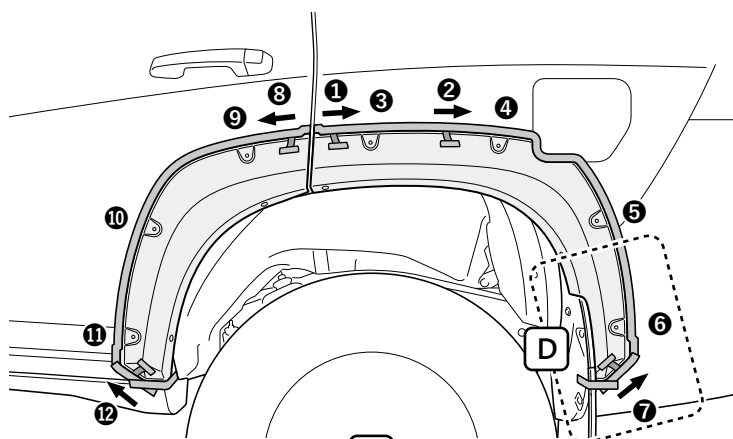
アドバイス 図の a-a 断面のようにフェンダーガーニッシュ本体 (R フェンダー / 左右) ③と車両フェンダーの位置を合わせてください。



- フェンダーガーニッシュ本体 (R ドア/左右) ②を車両にあてがい、図 C の箇所をタッピングスクリュー A ⑨で固定します。

👉アドバイス 円弧、意匠面を必ず揃えてください。

👉アドバイス 図 b-b 断面のようにフェンダーガーニッシュ本体 (R ドア/左右) ②と車両ドアの位置を合わせてください。



- 上下左右のバランス、隙、穴位置などのズレがないことを確認します。

•折り返した両面テープの離型フィルム (1 2 7 8 12) を引き抜き、図の順に圧着します (1 ~ 12)。

- 全てのマスキングテープを剥がし、仮締め箇所を本締めします。

👉アドバイス 両面テープは気温が 15°C 以下になると接着力が低下します。気温が低い場合は、作業前に両面テープ及び被接触面をドライヤー等であたためてから作業を行ってください。

👉アドバイス 両面テープの圧着は 49N・m (5kgf/cm²) 以上で行ってください。

👉アドバイス 取り付け完了後、3 時間程度は強い力をかけたり水に濡れない様に注意してください。両面テープのはがれや取付部分に隙間が発生する可能性があります。

装着状態の確認



注意 装着後には必ず取付確認を行ってください。
ボルト類の締め付け忘れなどにより本体が脱落する恐れがあり大変危険です。